

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY
2015
No. 104

contents

特別企画
誌上座談会 理事長・現学長・次期学長「NiASの明日を語る」

特集
キラリ! 長崎で輝く
話題人
卒業生 生月 菜々子さん

NiAS TIMES
産官学連携
公開講演会 開催報告
附属高等学校ニュース
新入教職員紹介
Information
入試案内

CAMPUS
PRESS

長崎総合科学大学学報 No.104 2015年(平成27年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-838-5131 <http://nias.jp/>

Information

2015(平成27)年度 入試のご案内

■大学入試案内

制度 項目	一般入試			センター試験利用入試			AO入試 AO特待生入試
	I 期	II 期	III 期	I 期	II 期	III 期	
出願期間 (消印有効)	1/ 7(水) ▼ 2/2(月)	2/16(月) ▼ 3/10(火) 必着	3/11(水) ▼ 3/21(土) 必着	1/ 7(水) ▼ 2/2(月)	2/16(月) ▼ 3/10(火) 必着	3/11(水) ▼ 3/23(月) 必着	9/ 1(月) ▼ 3/13(金)
試験日	2/7(土)・2/8(日)	3/13(金)	3/23(月)	—	—	—	随 時
合格 発表日	2/16(月)	3/19(木)	3/26(木)	2/16(月)	3/19(木)	3/26(木)	1/19(月)、2/16(月) 3/19(木)、3/26(木)
入試科目等	2科目 ◎1時間目/国語(国語総合) ※古文・漢文を除く 理科(物理) (化学) (生物) 外国語(英I+英II+リーディング) ◎2時間目/数学		数学および面接 ◎1時間目/数学 ◎2時間目/面接	4科目または3科目 1. 国語(国語)(国語のうち近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会) (倫理、政治・経済、[倫理、政治・経済]) 3. 数学①(数I、数II・数A) 4. 数学②(数II、数III・数B、工業数理基礎、情報関係基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志望理由書 (出願時提出) ※600字～800字
試験場	本学、佐世保、五島 対馬、那覇、鹿児島 宮崎、大分、熊本 佐賀、福岡、松山 広島、大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

■大学院入試案内

工学研究科 修士課程/博士課程

■附属高校入試案内

平成27年4月入学者(二次募集)		一般入試[一次試験]			一般入試[二次試験(専願)]	
願書受付期間	2/12(木) ▶ 2/20(金) 必着	試験種別	一般試験	A特待試験 B特待試験	試験種別	一般試験
学 力 試 験 (修士課程のみ)	3/3(火)	出願期間	1/5(月) ▶ 1/19(月)		出願期間	3/16(月) ▶ 3/18(水)
面 接	3/4(水)	試 験 日	1/21(水)		試 験 日	3/19(木)
試 験 場	本学(詳細は受付後通知)	会 場	本校		会 場	本校
合 格 発 表	3/10(火) 13:00 大学院掲示板	試験科目	国・英(リスニング有り)・数・集団面接		試験科目	国・英(リスニング無し)・数・個人面接
入学検定料	30,000円	合格発表	1/23(金)		合格発表	3/19(木)
		受 験 料	12,000円		受 験 料	12,000円

特待生

■大学特待生A制度

28名以内
**国立大学より
安い学費**
学力、人物の優秀なものに対して
授業料4年間免除

※一般入試(III期)は除く
※成績不良等で資格取り消し有

センター試験利用入試
または一般入試にて選考

TVCM配信中

長崎総合科学大学の新しいテレビCMが完成しました。タグラインコンセプト「きわめる。拓く。創り出す。」をテーマに制作され、現在、長崎県内にて配信中です。YouTubeにて動画配信も実施中です。大学ホームページの「NiASムービー」よりご覧いただけます。



きわめる。拓く。創り出す。

NiAS 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。



このQRコードで
本学モバイルHPにアクセスできます。

きわめる。拓く。創り出す。

NiAS 長崎総合科学大学
Nagasaki Institute of Applied Science

《日本人学生》
●山口 静香さん/情報学部 知能情報学科3年生(右)
●江藤 太一さん/工学部 工学科 船舶工学コース1年生(中央左)

《留学生》
●グエン トゥイ リン(NGUYEN THUY LINH)さん/総合情報学部 総合情報学科 生命環境工学コース1年生 ベトナム出身(中央右)
●ケイ カンゲツ(経 郎月)さん/別科日本語研修課程 中国出身(左)



貴島現学長

れたのは、こうした取り組みが評価されたことが大きいと思います。

また、地域の自治体や様々な機関と連携協定を締結し、社会貢献や地域貢献を意識した産官学連携の強化に努めてきました。

教育面では、多様化する社会に対応できるものづくり人材を育成するため、今年度より従来のカリキュラムを大幅に見直し、基礎教育やキャリア教育の充実をはかり、学部・学科組織を改編し、専門をきわめ、他分野も広く学べるコース制を導入したところです。

今後は更に教育内容を発展的、継続的に充実させていく必要があり、国際化に対応したグローバル人材の育成も課題だと考えています。

ているわけですが、木下次期学長の今後の抱負をお聞かせください。

木下次期学長 現地に根を下ろした、伝統を誇る技術系大学である長崎総合科学大学への地域社会からの期待は従来にも増して大きいと考えます。それを担うのは人材であり、教育こそ緊急、最大の課題です。

大学とは、学問体系の基礎と問題解決の手法の例を先生方から講義と演習を通じて学び、さらに広く友と交わり、切磋琢磨の中から各人の個性とその多様性の尊さを学び、その中で協調性とリーダーシップ、そして自律と克己を身につけ、他者への敬意と寛容を忘れない国際性に富んだ人格を磨く場所です。すなわち人間教育こそ求められていると考えます。

大学は「顧客」たる学生の満足度を高めるよう最大限の努力をしなければ

特別企画 誌上座談会

「NIASの明日を語る」

理事長 **立石 暁** × 現学長 **貴島 勝郎** × 次期学長 **木下 健**

Satoru Tateishi

Katsuro Kijima

Takeshi Kinoshita

長崎総合科学大学は、
貴島勝郎現学長の任期満了（平成27年3月31日）に伴い、
平成26年10月31日開催の理事会において、
日本大学理工学部海洋建築工学科特任教授（東京大学名誉教授）の
木下 健氏を第19代学長に選出しました。
今回、「NIASの明日を語る」と題して、
立石理事長、貴島現学長、木下次期学長に、
大学の今後の展望や抱負について語り合っていました。



司会

立石理事長



木下 健

Takeshi Kinoshita

東京都生まれ、65歳。工学博士。
専門分野は海洋工学。

《プロフィール》
1976年3月 東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻博士課程修了
1976年4月 横浜国立大学工学部造船工学科講師
1978年4月 横浜国立大学工学部造船工学科助教授
1978年7月 東京大学生産技術研究所助教授
1983年8月～1984年7月 英国エジンバラ大学、ブルネル大学客員研究員
1996年7月～2013年3月 東京大学生産技術研究所教授
1997年6月～1999年5月 学術振興会ロンドン研究連絡事務所長
1997年6月～現在 英国サザンプトン大学客員教授
2013年4月 東京大学名誉教授
現在 日本大学理工学部海洋建築工学科特任教授
その他現在、海洋エネルギー資源利用推進機構会長も務める

ばなりません。職員の皆様には学生の諸活動に可能な限り協力・支援をして頂きたいと思っています。教員の皆様には彼らの知識・技能獲得のための最善のカリキュラムを用意しているかを常に見直して頂きたいと思っています。そして一流の教育を心掛け、それを支える基礎研究に怠りなきよう努めて頂きたいと思っています。

また、課外活動も今一層活性化させねばならないと思っています。講義・演習がともすれば受身であるのに対して、課外活動は学生の自主性を基本として、決められたルールの中で切磋琢磨の結果を競い合うことで一生の友を得る恰好の機会を与えます。同時にかけがえのない友との時間の中で各自の価値観を磨き合い、社会貢献の実践の良い経験を得る事になるからです。

大学には学生以外に広い意味での「顧客」として保護者の皆様、地域社会があると考えます。学生が長崎総合科

学大学で学んで良かったと心から思うとともに保護者の皆様もご子息、ご息女を長崎総合科学大学に入学させて本当に良かったと思っていたきたい。地域社会にも我が地の大学として、出来れば誇りを持って受け入れてもらいたい。

そのために同窓会などとも連携し、風通し良く地域企業との問題共有に、今一層、大いに努めていきたいと考えています。教育中心・地域還元第一に長崎総合科学大学を時代の期待に応える大学にしたいと考えています。

立石理事長 木下次期学長のお話を伺って、先生の教育に対する基本的なお考えや本学への熱い意気込みが伝わってきました。今春からの学長就任を大いに期待しています。ありがとうございます。

立石理事長 木下健先生、この度の次期学長への選出、誠におめでとうございます。今日は貴島現学長と一緒に、大学の今後の展望や抱負などについて大いに語っていただきたいと思います。まずは簡単な自己紹介からお願いします。

木下次期学長 私は大学院博士課程終了後、横浜国立大学、東京大学生産技術研究所で、船舶海洋工学、特に波浪発電や海洋構造物の運動理論などの研究教育に携わって参りました。その間、2年間、日本学術振興会ロンドン研究連絡事務所長として英国における高等教育改革の調査にも関わりました。昨年春からは日本大学理工学部在籍しております。現在、長崎県海洋エネルギー産業の拠点形成に向けた有識者会議のメンバーでもあり、長崎にも大変お世話になっていきます。

立石理事長 貴島学長から、これまで6年間、学長として取り組んでこられた研究や教育両面における様々な新しい試みについて、少しお話しいただきませんか？

貴島現学長 大学の大きな使命の一つである社会貢献を先ず取り上げまして、本学の先生方がこれまで積み上げてきた研究成果を地域に還元するにはどうすればいいか考えました。そこで、本学が位置する東長崎地区に低炭素化社会に向けた未来型エコタウンをつくる「東長崎エコタウン構想」を提唱し、バイオマスや太陽光発電、潮流発電などの再生可能エネルギーの地産地消を目指した取り組みを自治会、県、市、企業の皆様の協力を得て行ってきました。文部科学省の大学発グリーンイノベーション創出事業「緑の知の拠点事業」にも本学が全国で最初に採択さ



木下次期学長

話・題・人

Close
up
People

環境活動のNPO法人を設立

目指すは、日本一の
「へんちくりん」。



NPO法人を設立したきっかけ

大学で学んだことを活かし、長崎で環境分野の仕事がしたいと考え、この団体を設立しました。最初は、不安も大きかったのですが、いつも支えてくれる方々が居たからこそ4年間続けることができました。そして今後も長崎で仕事がしたいと思い、任意団体からNPO法人へと移行しました。

活動内容

「つなぐ×つくる×変わっていく」をコンセプトに、4つの事業を行っています。

①まちづくり支援

②環境教育等の企画運営

③環境経営コンサルティング

④竹林整備による里山保全・資源利用

特に自然体験や放置竹林の問題解決に関した活動「へんちくりん」として活動しています。

「へんちくりん」には、そこに関わる人と竹林(場所)が変わっていくという想いが込められています。

大学の勉強で役立っていること

学生時代、学部でISO14001規格の事務局運営に関わり、法規制度や書類管理、データ処理、プレゼンなどを学びました。また、所属していた環境活動グループで、地域の方々との繋がり大切さや接し方を学びました。学生時代に培った経験や人との繋がりがそのまま今の仕事に活かされています。

今後の抱負

地域で働ける場所として、団体の基盤作りを行います。当団体に関わった方々が「また一緒に活動したい!」「今度は一緒に何をしようか」と次に繋がるようなプログラムを提供していきたいと思っています。目指すは、日本一の「へんちくりん」です!



卒業生 生月 菜々子さん Nanako Ikitsuki

NPO法人環境保全教育研究所 代表理事

2011年 人間環境学部環境文化学科(現・総合情報学部総合情報学科生命環境工学コース)卒業
長崎県立西陵高校出身

へんちくりん facebook

検索

きらり! 長崎で輝く

「長崎がんばらんば国体」で大学院生が
弓道成年女子の遠的で6位入賞!

第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」(10月12日~22日)で、弓道成年女子の部に、大学院工学研究科1年生の張新奈さん(本学環境・建築学部卒・純心女子高校出身)が出場し、遠的競技で6位入賞と、地元長崎でキラリと大活躍しました。



普段の張さん



堂々と冷静に弓を引く張さん



中村選手



熊谷選手(16番)



鈴木選手(9番)



伊原選手(14番)

「長崎がんばらんば国体」に
附属高校サッカー部より4名が出場!

同じく第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」に附属高校サッカー部の4名が、少年男子サッカーの部に長崎県代表として選出され、初戦のピッチに立ちました。試合は残念ながら敗れましたが、地元長崎でキラリと躍動しました。

《国体出場選手》

中村 匡希さん(2年生)

熊谷 廉さん(2年生)

伊原 虎之介さん(1年生)

鈴木 颯太さん(1年生)

本学建築学科の学生が
「長崎くんち」で踊り子として出演!

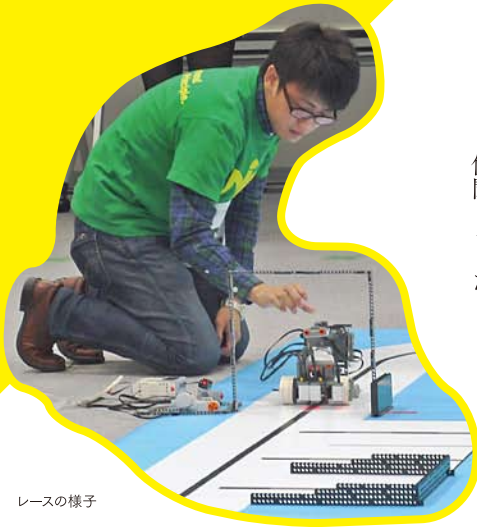
環境・建築学部建築学科4年生の轟木麻弥さん(長崎県立長崎工業高校出身)が、10月7日~9日に行われた長崎の氏神「諏訪神社」の秋季大祭である「長崎くんち」に、万才町の本踊(ほんおどり)の踊り子として出演しました。轟木さんは13年間日本舞踊をしており、長年の夢だった長崎くんち出演を学生最後の年に叶えました。



普段の轟木さん



諏訪神社での本踊り奉納の様子(手前右が轟木さん)



レースの様子

スピードと正確さを競い合うスマートデバイスGP2014全国決勝大会が12月13日、東京都のMONOテレコムセンターで開催され、本学学生チーム「NiASET」から黒田健悟さん（工学部船舶工学科3年生）が参加し、ロボットの走る姿が一番印象に残ったというところで、特別に日立オートモティブシステムズ株式会社様より企業賞を受賞しました。

4つの地区大会を勝ち抜いた34チームが競い合い、黒田さんは、調整に苦勞しながらも2回とも完走し、第11位と健闘しました。

スマートデバイスGP 全国決勝大会で 企業賞を受賞！

ヨット部が全日本学生 ヨット選手権大会に出場！

ヨット部が10月30日から11月3日、福岡市西区の小戸ヨットハーバーで開催された第79回全日本学生ヨット選手権大会の国際スナイプ級に出場しました。全国から予選を勝ち抜いた24チームが出場しましたが、総合順位は18位でしたが、14年ぶりの全国大会大会出場で得るものは大きかったようでした。



建築学科の学生がデザインした リノベーションプランが実現化されました

環境・建築学部建築学科3年生の鳥山友莉さん（長崎県立長崎南高校出身）がデザインしたリノベーションプランが採用された住宅物件が完成し、9月20日にオープンハウスを見学しました。

これは長崎市の不動産業株式会社ABCからの提案により、賃貸住宅を大学生の創造性を活かしたデザインでリノベーションしようとするもの。和室の1DKを、一面だけ色を変えた壁やハンガーやフックがかけられる木材が特徴の1Kのワンルームにリノベーションし、完成した部屋を見た鳥山さんは感慨深げな様子でした。



デザインした鳥山さん（中央）と松崎さん（左）、南さん（右）
写真左部分のハンガーやフックがかけられる木材が特徴

サッカー部が「九州各県大学サッカーリーグ決勝大会」で第3位！

サッカー部は、10月に開催された長崎県大学サッカー秋季リーグにおいて2連覇を達成し、11月29日、11月30日の両日、鹿児島県霧島市の国分運動公園で開催された九州各県大学サッカーリーグ決勝大会に出場しました。決勝大会では、初戦で鹿児島大学医学部歯学部を撃破し、準決勝で沖縄の名桜大学にPK戦の末敗れたものの、3位決定戦で鹿児島国際大学に勝利し、第3位と活躍しました。

12月20日、宮崎県の高原町総合運動公園で実施された宮崎大学との入れ替え戦では、0-1と惜敗し、九州リーグへの昇格はならなかったものの、今後の更なる活躍に期待がかかります。



九州各県大学サッカーリーグ決勝大会準決勝
先制点を決め喜ぶ知念選手（左）と東選手（右）



九州各県大学サッカーリーグ決勝大会1回戦
果敢にゴールを狙う本学サッカー部（ブルー）

技の祭典! 技能まつり

11/16 ロボコンサークル
「NiAS夢工房」



NHK大学ロボコンに参加したロボットの操縦体験

近隣の日見小学生との稲刈り

10/24 総合情報学部総合情報学科
生命環境工学コース生と大学院生



大学生と小学生が力を合わせて6月に植えた稲を刈りました

日見地区公民館まつり

11/16 吹奏楽部、沖縄県人会



沖縄県人会がエイサーを披露

学園祭「造大祭」を開催しました

11月22日、23日の2日間、学園祭「第51回造大祭」を開催しました。

今年は「New Step 〜みんなで描く長総大〜」をテーマに、今までにない新しい楽しさを追求し、より地域と密着した学園祭を目指した内容で開催され、たくさんの方で賑わいました。



医療工学コース生による白衣でのよさこい演舞



アイドルユニット「ミルクセーキ」によるライブ

学内外のイベントで学生・教員が活躍しました！

ながさきエコライフ・フェスタ2014

10/26 工学部工学科船舶工学コース生と総合情報学部総合情報学科生命環境工学コース生



船舶工学コースによるソーラーボート試乗会



枝の残材を使ったペンダント作り体験



吹奏楽部はアンコールにも応え、全4曲を披露

本学主催の企業研究セミナーを開催

企業の業務内容や業界に関する理解を低学年の時期より深めるためのキャリア教育の一環として企業研究セミナーを12月18日、ホテルニュー長崎にて初開催しました。全国から55社が参加し、学生も約350名が参加しました。現在の大3年生より、就職活動の解禁時期が従来の12月から翌年3月以後倒しになり、就職活動期間の短期化の影響が懸念される中、企業2社からの講話や各ブースでの対話では、企業担当者からの説明を学生が真剣な表情でメモを取りながら話を聞いていました。また本学出身担当者も多く、学長をはじめ教員も多数出席し、企業との情報交換が積極的に行われました。

なお、2月にも、同様の企業研究セミナーの開催を予定しています。



個別ブースでの説明の様子



企業からの講話



会場の様子 立教大学の村田教授 立教大学の村田教授 立教大学の村田教授

「21世紀の科学技術」

～みんなで学ぼう！物理学最前線～

◎本学大学院新技術創成研究所主催 ◎12月21日 サンリール

本学大学院新技術創成研究所に今年度より基礎科学部門を新たに設立したのを記念し、シンポジウムを開催しました。今回のシンポジウムでは、今年のノーベル物理学賞を日本人3氏が受賞したこともあって非常に関心が高く、長崎県内の高校生や一般市民など約350名が参加しました。

基調講演では、立教大学理学部物理学科教授の村田次郎氏が「重力と時空の謎～三次元を超える宇宙を探る～」広島大学大学院理学研究科物理科学専攻准教授志垣賢太氏が「宇宙の始まりと物質の謎～クォーク・グルーオン・プラズマの発見～」と題して、それぞれ講演いただきました。

また、本学を代表して、共通教育部門の澁佐雄一郎准教授が「超ひも理論とは？究極の理論の候補～」工学部工学科電気電子工学コースの大山健教授が「CERN素粒子実験最前線～素粒子はどうやって検出するか～」と題して、それぞれ講演しました。

今回のシンポジウムでは、著名な研究者と本学教員の具体的活躍を通じて、若者に先端科学や物理学の最前線に関する理論や動向に触れる機会を提供しました。

東長崎学園都市化推進事業記念講演会

夢の実現 大阪の町工場が宇宙を呼び寄せた！～人工衛星「まいど1号」打ち上げ成功～

◎東長崎商工会・長崎総合科学大学主催 ◎12月2日 本学グリーンヒルキャンパス



青木豊彦氏による講演 会場は笑いと熱気に包まれました

東長崎商工会が取り組む本学を核とした東長崎地区の学園都市化推進事業の一環として、記念講演会を開催し、商工会員、学生、教職員など約150名が参加しました。

東大阪市モノづくり親善大使で航空機部品製造業、株式会社アオキ取締役会長の青木豊彦氏を講師にお招きし、「夢の実現 大阪の町工場が宇宙を呼び寄せた！～人工衛星「まいど1号」打ち上げ成功～」と題して、講演いただきました。

青木氏のユーモアを交えた熱のこもった講演に、会場は終始、熱気と笑いに包まれました。



小山教授による講演

講師として、農業経済学の専門家として福島再生のための提言と実践に取り組まれている「うつくしまふくしま未来支援センター」副センター長も務める福島大学の小山良太教授をお招きし、「福島から考える日本の平和―福島再生と日本のありかた―」と題して、講演いただきました。

小山氏は、原発事故で福島県が抱えている課題を紹介し、福島県の現状と展望について述べられました。

平和文化講演会

「福島から考える日本の平和―福島再生と日本のありかた―」

◎本学長崎平和文化研究所主催 ◎12月6日 長崎原爆資料館



セミナーで講演する田中センター長

「エコベンチャーメッセ2014」に出展

環境保全・エネルギー技術の紹介と技術交流を促進する展示会「エコベンチャーメッセ2014」(10月8～10日、西日本総合展示場 北九州市)に産官学連携センターが出展しました。本学は文部科学省の採択事業「緑の知の拠点事業」を紹介、マイクログリッドシステムのデモンストラーションを行い、たくさんの来場者にご訪問いただきました。

また、期間中、田中義人産官学連携センター長が「緑の知の拠点事業」と東長崎エコタウン構想について、大学シーズを活用したスマートコミュニティ推進」と題したセミナーを行い、大学の研究活動や地域における実証事業の概要を紹介しました。

協定締結

今年度、新たに長崎市、長崎県市町村行政振興協議会、社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会長崎病院と本学との間で、包括連携協定を締結しました。長崎市とは技術を生かした地域活性化等に係る協定、長崎県市町村行政振興協議会とは相互連携による地域社会の形成と発展に係る協定、社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会長崎病院とは、学術研究や人材育成などで連携する協定をそれぞれ締結し、今後は相互に連携・協力しながら、地域の課題や発展に取り組んでいきます。



済生会長崎病院との締結式 澄川院長(左)と立石理事長(右)



長崎県市町村行政振興協議会との締結式 立石理事長(左)と川本協議会事務局長(右)



長崎市との協定締結式での記念撮影 中央の二人が本学の立石理事長と長崎市の田上市長

第1回スマコマながさき 電動バイクコンテスト

本学学生チームが総合優勝

長崎県内の学生と中小企業のものづくり交流を目的に、民間発の産学官金連携により立ち上げられた企画「第1回スマコマながさき電動バイクコンテスト」(主催：スマコマ長崎実行委員会、大会事務局：信栄工業有限公司)が11月9日、長崎市のあたご自動車学校で開催され、本学学生チームAが総合優勝に輝きました。



大健闘した本学チームA・Bで記念撮影

※「スマコマながさき」とは、長崎県の中小企業と学生がものづくりを通して交流し、早い段階からのものづくりの体験とお互いの認知ができる機会を創造し、長崎の若い力による産業の先鋭化を目指す、民間発の本物の産学官金の取り組みです。

スマコマ=Small and Medium enterprises and Academia Collaboration Manufacturingの略

文部科学省 平成26年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に採択

◎「アクティブラーニング」のためのシステム導入による学生の主体的な学びの場を提供 ◎地域発展に寄与する高度技術者育成のための「3D-CAD」などの教育設備の拡充

文部科学省の平成26年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」において、タイプ1「教育の質的転換」とタイプ2「地域発展」の2件に本学が採択されました。

「教育の質的転換」では、学生一人ひとりの学修度を学生および教職員が一体となって管理し、講義・実習の事前事後における学生自らの学びを支援すると共に、ポートフォリオを閲覧しながら一人ひとりの学習時間等を把握し主体的な学習を図ることを目的とした学習環境を整備していきます。具体的には、オンデマンド動画配信システム、eラーニングシステム、学修管理・支援システムを導入・拡充し、学生の主体的な学び(アクティブラーニング)の場を提供していく予定です。

また、「地域発展」では、長崎県の目指す高付加価値船の設計・建造や海洋・環境・エネルギー分野において、高度技術者の育成が必要であり、特に若手技術者には3D-CADを使いこなすスキルが求められています。こうした背景のもと、今後、設計・製造・運用のライフサイクルを考慮した一貫教育を目的とする教育設備を導入し、充実していく予定です。

New Staff Interview

新たにスタッフとなった教職員を紹介します。④所属・職名 ⑤趣味・特技 ⑥抱負など一言



マツオ タカシ
松尾 滝俊

④管財情報課 / 職員
⑤釣り、バイクでツーリング
⑥民間企業で働いていたことが、一つでも長総大のお役に立てればと考えます。また、長総大の様々な技術を持った方々との交わりにも非常に興味を持っています。宜しくお願い致します。

④工学部工学科電気電子工学コース / 教授
⑤自転車、水泳、旅行
⑥高エネルギー物理学実験のための、最先端の粒子測定技術と電子回路技術の開発に取り組みます。グローバルな人材の育成と、物理学実験技術の産業等への応用などに貢献できれば良いと思っています。



オオヤマ ケンジ
大山 健之

ドイツのハイデルベルグ大学で教鞭を執っていました!

facebook いいね! 数ランキング

今年度より大学facebook公式ページをスタートしました。その中で「いいね!」の多かった記事を1位から5位まで紹介します。

順位	いいね!数	閲覧数	内容
第1位	92	3704	附属高校サッカー部、3年連続全国高校サッカー選手権大会に出場決定!
第2位	55	573	長崎総合科学大学は東京大学を抜いて、教員1人あたりの論文被引用数で全国1位にランクインしました!「大学ランキング」
第3位	45	1494	大学サッカー部が「九州各県大学サッカーリーグ決勝大会」で第3位!
第4位	42	1014	本学大学院生が「長崎がんばらば国体」弓道成年女子の遠的で6位入賞!
第5位	39	754	長崎新聞の「石だたみ」というコーナーで、本学学生食堂の名物メニュー「カレーうどん」が紹介されました
第5位	39	1363	建築学科の学生がデザインしたリノベーションプランが実現化

2015.1.15現在

Pick up



「大学ランキング」で本学が全国1位になりました!

2014年4月発行の「2015年版大学ランキング」(朝日新聞出版)で、エルゼビア社による教員1人あたりの被引用数および1論文あたりの被引用数、トムソン・ロイター社による論文引用度指数のランキングが発表され、本学は日本の761校のうち、それぞれで第1位にランキングされています。

エルゼビア研究業績 掲載論文 (2009~2013年)

教員1人あたりの被引用数

	大学	回
1	長崎総合科学大学	119.13
2	東京大	85.46
3	東京工業大	84.10
4	沖縄科学技術大学院大	82.88
5	京都大	80.78
6	奈良先端科学技術大学院大	76.48
7	名古屋大	65.36
8	大阪大	59.25

エルゼビア研究業績 掲載論文 (2009~2013年)

1論文あたりの被引用数

	大学	回
1	長崎総合科学大学	15.21
2	広島工業大	7.71
3	沖縄科学技術大学院大	7.46
4	東京医科歯科大	6.78
5	名古屋市立大	6.71
6	首都大学東京	6.53
7	滋賀医科大	6.46
8	東京大	6.27

トムソン・ロイター 論文引用度指数 分野別、論文引用度指数 (国内2008~2012年)

物理学

	大学・機関	論文数	引用度指数
1	長崎総合科学大学	269	194.0
2	広島工業大	307	163.0
3	大阪市立大	906	149.3
4	岡山大	1,043	143.0
5	早稲田大	1,569	141.9
6	筑波大	2,434	137.4
7	広島大	1,563	136.1
8	佐賀大	406	136.0

上位入賞 (1994~2013年)

NHK大学ロボコン

	大学	点
1	豊橋技術科学大	53
2	長岡技術科学大	48
3	東京大	38
4	金沢工業大	34
5	長崎総合科学大学	22
6	三重大	19
7	九州大	14
8	ものづくり大	13

出典:「大学ランキング2015年版」朝日新聞出版発行

大学facebookの閲覧は

附属高等学校ニュース

High School Attached to Nagasaki Institute of Applied Science News

校舎移転! 新しい校舎での 学びがスタート!

附属高校が昨年8月からシーサイドキャンパス(長崎ペンギン水族館横)に校舎を移転し、新しい校舎での学びがスタートしました。
グリーンヒルキャンパスとシーサイドキャンパスの2つのキャンパスに分かれていた大学施設を昨春の学部・学科改編に合わせてグリーンヒルキャンパスに機能を集約し、教育と研究における学内連携を強化。附属高校は移転により、施設・設備を一層充実したことで、大学も附属高校も更なる教育環境の向上を実現しました。

校舎外観(上)と校舎内(下)

全国高校サッカー選手権長崎県大会3連覇!! 全国高校サッカー選手権大会に3年連続出場!



長崎県大会決勝戦 決勝ゴールが決まり歓喜のガッツポーズ!



延長前半、ダイビングヘッドで決勝ゴール!



見事3連覇を達成した附属高校サッカー部

サッカー部が全国高校サッカー選手権大会長崎県大会の決勝戦で海星高校を延長戦の末2対1で破り優勝し、第93回全国高校サッカー選手権大会に3年連続出場を果たしました。

高大連携授業の取り組み 「長総大セミナー」

附属高校では、理工系大学としての本学の特色を活かした高大連携授業を実施しています。これは附属高校の総合的学習の取り組みとして高校教員と大学教員が協力し、大学の特色を活かした体験型の高大連携授業となっています。

体育祭&文化祭

9月23日、体育祭が行われました。急に発生した台風の影響が心配されるなか、無事行われ、例年以上にたくさんの方々が観に来てくださいました。10月24日には校舎移転をして初めての文化祭が開催され、生徒会が中心となってアイディアを出し合い、楽しい企画満載の文化祭となりました。